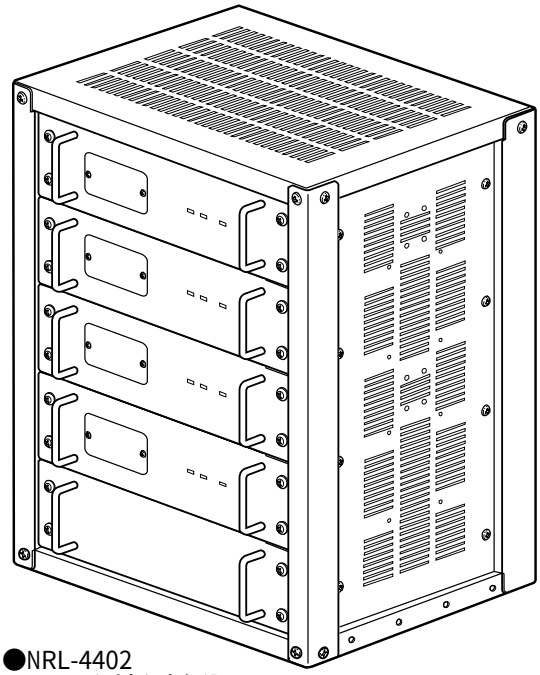
UNI-PEX

車載用ラック

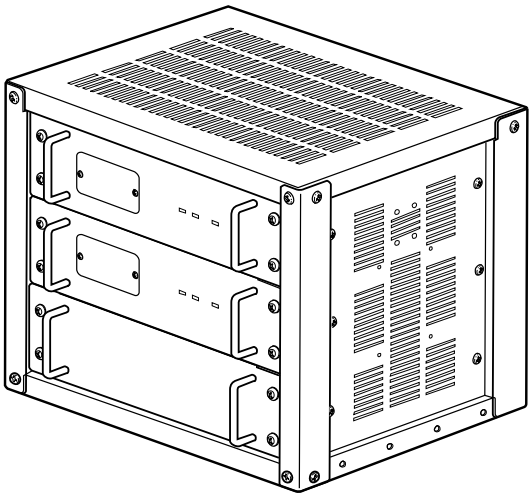
取扱説明書

電力アンプ 4台組込可　電力アンプ 2台組込可

NRL-4402　NRM-2202



●NRL-4402
NRA-3004(別売)4台組込



●NRM-2202
NRA-3004(別売)2台組込

このたびは、車載用ラックをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

安全上のご注意　必ずお守りください

●ご使用の前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。
●お読みになったあとは、必ず保存してください。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

△記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。左図の場合は一般的な行為を指示する表示です。

⚠警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

工事は工事店に依頼する
工事には、技術と経験が必要です。火災・感電、けが、器物損壊の原因となります。必ず工事店にご相談ください。

通風孔をふさがない
通風孔をふさぐ、ものをのせたり通風を悪くすると内部に熱がこもり火災の原因となります。

運転の視界や操作を妨げる場所に取り付けない
運転視界を妨げる場所やブレーキペダル付近などに取付、配線すると交通事故の原因となります。

パイプ、タンク、配線などを傷つけない
車体に穴をあけるときパイプ、タンク、配線などに傷を付けると交通事故や火災の原因となります。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

高温部に設置しない
エンジンルームや温風吹き出し口のそばに設置すると、ケーブルが溶けて、火災の原因となります。

水のかかるところへ設置しない
雨や水のかかるところへ設置すると、火災の原因となることがあります。

振動の多い場所や、不安定な場所に設置しない
ゆるみやはずれで落下し、交通事故やけがの原因となることがあります。

取付ねじはしっかり締める
落下して、交通事故やけがの原因となります。

正しく配線する
取扱説明書の通りに配線しないと、事故や火災の原因となります。

電力アンプ、スピーカーなどの機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。

設置・使用上のご注意

■使用する電源は

- 本機に組み込む電力アンプ　NRA-3004の使用電源電圧はDC24Vです。使用車種の電源電圧に注意してください。DC12V車やAC電源では使用できません。

■バッテリーの容量は

- 大出力放送設備になると消費電力も大きくなり、バッテリーの容量も大きなものが必要になります。容量が不十分ですと出力不足や動作不安定、また自動車の走行不能などの原因になりますので、組み込む電力アンプの取扱説明書に記載されている容量以上のバッテリーを接続してください。

■スピーカーの接続は

- 本機の配電部にスピーカーを接続する場合は、別売のスピーカー接続コードLS-310を使用してください。

■電力アンプの組込は

- ラック搭載形電力アンプの取扱説明書も合わせてご覧ください。

■ブランク部は

- NRL-4402に電力アンプを3台、またはNRM-2202に1台組み込む場合は、ブランク部に別売のブランクパネルNRB-1100を取り付けてください。

■電力アンプを2台以上組み込むときは

- 本機に電力アンプを2台以上組み込む場合は、必ず別売のブロアーユニットNBL-024を取り付けてください。電力アンプ2台組込時は1ユニット、電力アンプ3台、または4台組込時は2ユニット取り付けてください。

■ブロアーユニットNBL-024(別売)を取り付けるときは

- ブロアーユニットNBL-024は、電力アンプの取り付けをおこなう前に、取り付けてください。

取付方法

●本機に別売のラック搭載形電力アンプ NRA-3004を次の要領で取り付けてください。（図1参照）

◎取付前に、必ず電力アンプの取扱説明書もよく読んでください。

◎電力アンプを2台以上組み込む場合は放熱効果を上げるために、必ず別売のブロアユニットNBL-024を取り付けてください。

※ブロアユニットは電力アンプを取り付ける前に取り付けてください。

①後面のパネルをはずす
・本機の後面パネルをはずしてください。

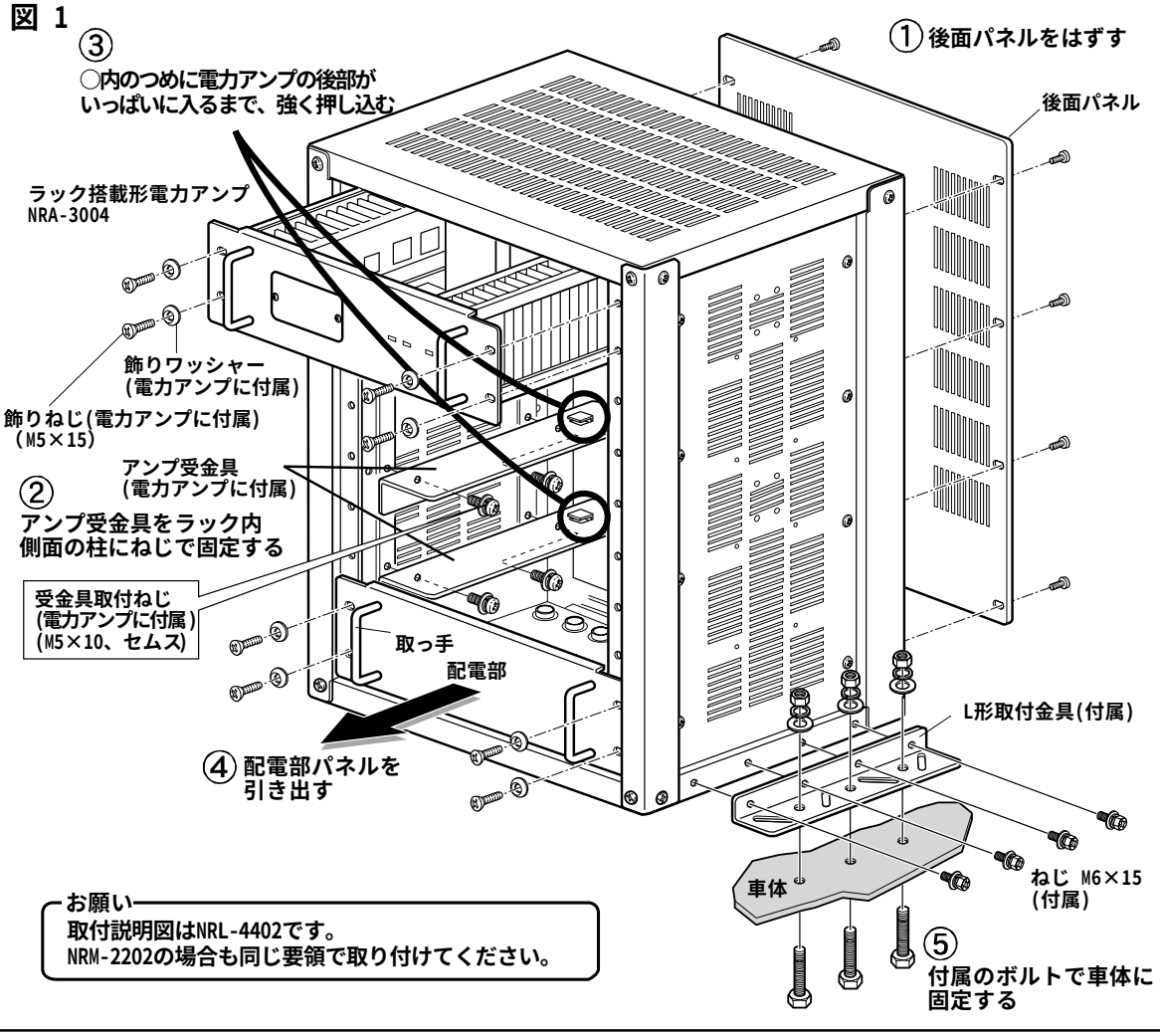
②アンプ受金具を取り付ける
・本機の内側、両側面にアンプ受金具（左用、右用）を受金具取付ねじ2本で各々固定してください。（アンプ受金具、取付ねじとも電力アンプに付属）

③電力アンプを固定する
・アンプ受金具のつめ（図1○部分）に電力アンプの後部がいっぱいに入るまで強く押し込み、電力アンプに付属の飾りねじとワッシャーで電力アンプを固定してください。

④本機の配電部に各コードを接続する
・本機最下段の配電部パネルを取付ねじ4本をはずし、引き出してください。スピーカーコードと電源コードをラック配電部に接続してください。（P4の配電部の接続方法をご覧ください。）コード接続終了後、後面パネルと配電部パネルをもとどおりに取り付けてください。

⑤車体に固定する
・付属のL形取付金具とねじ、ボルトでラック本体を車体に固定してください。

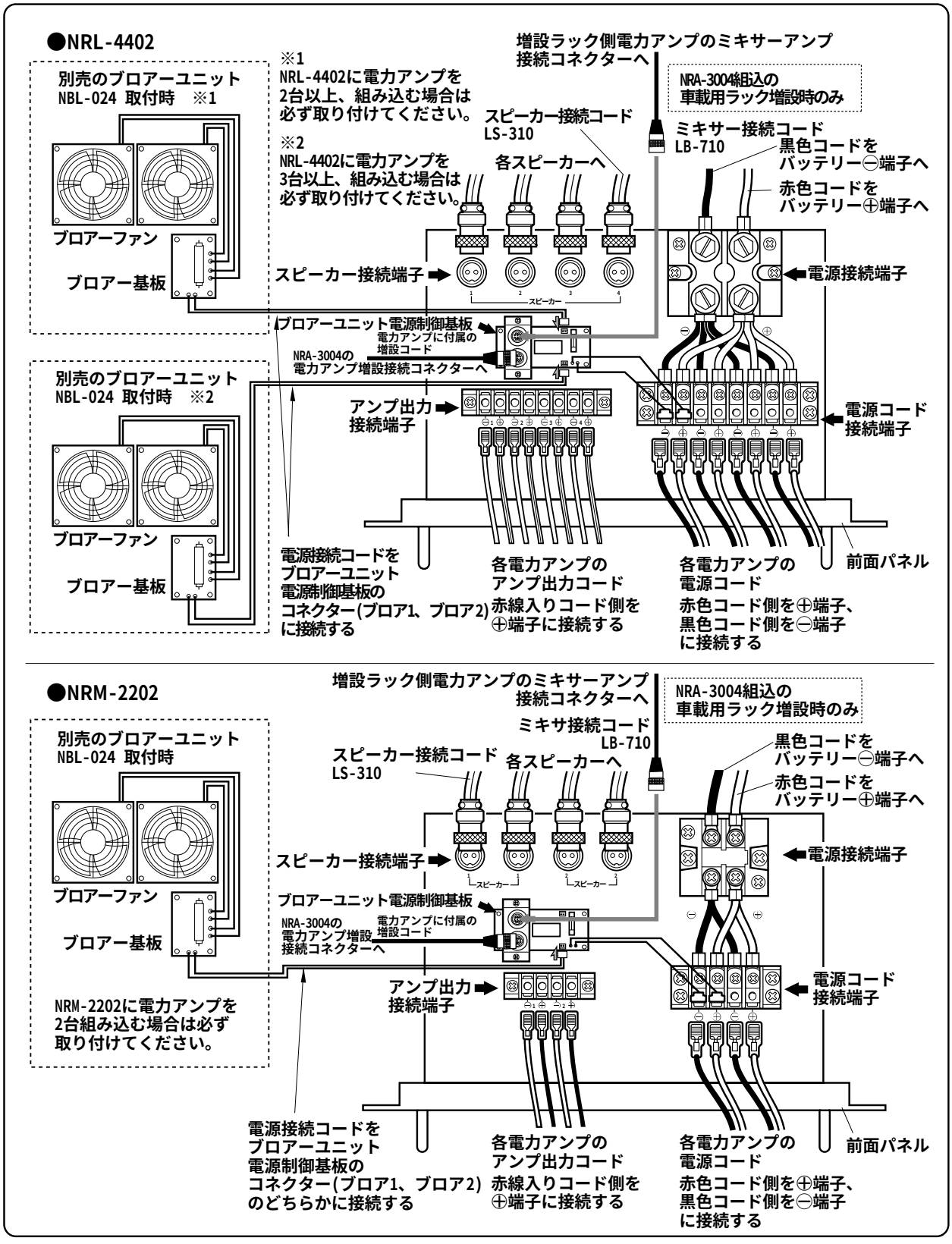
図 1



お願い
取付説明図はNRL-4402です。
NRM-2202の場合も同じ要領で取り付けてください。

配電部の接続方法

●本機の配電部の取付ねじをはずし、パネルの取っ手を持って引き出してください。（3ページ、図1参照）
●各接続コードを下図の説明に従って接続してください。
◎電力アンプの取扱説明書も必ずよく読んでください。



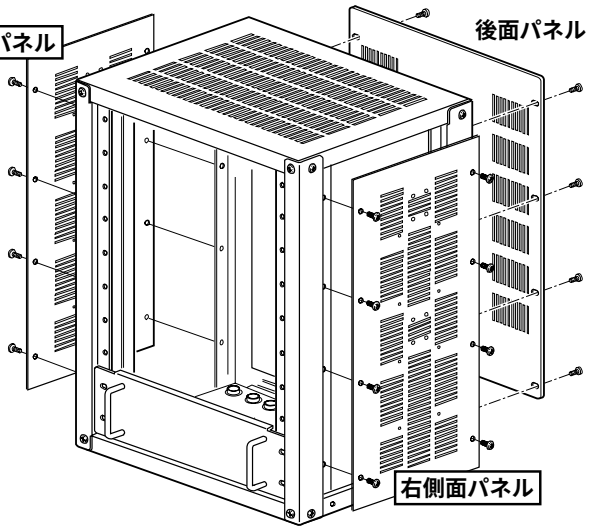
ブロアーユニットの取付方法

・本機に電力アンプを2台以上組み込む場合は、ラック内の温度が上昇しやすくなります。別売のブロアーユニットNBL-024を取り付け、放熱効果を上げてください。
・電力アンプ2台組込時は1ユニット、電力アンプ3台、または4台組込時は2ユニット取り付けてください。
・本機にブロアユニットを次の要領で取り付けてください。

注)ブロアーユニットは電力アンプを組み込む前に取り付けてください。

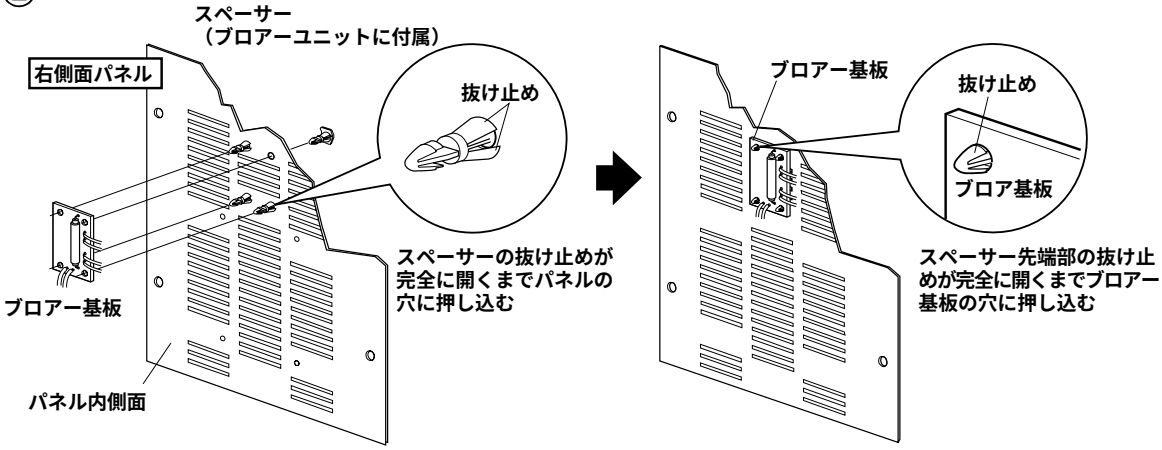
■ブロアーユニットの取付手順

① 後面パネル、左右側面パネルをはずす

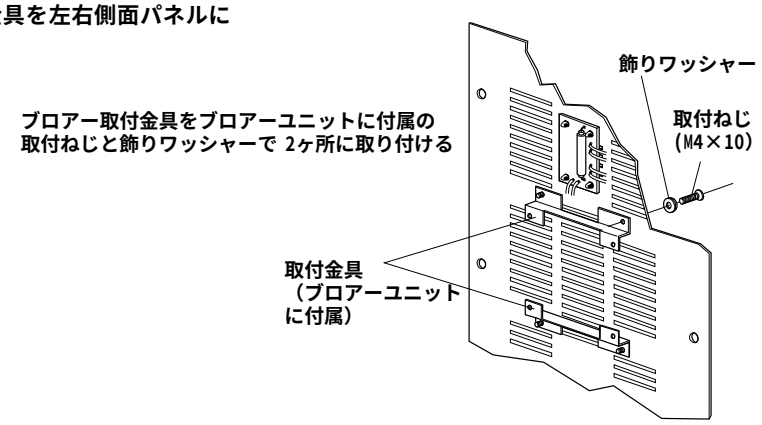


◆ブロアーユニットの取付説明図はNRL-4402です。NRM-2202の場合も同じ取付手順です。
◆NRL-4402の左右の側面パネルは、ブロアーファンとブロアー基板を上下に2組取り付けることができます。ブロアーユニットを2ユニット取り付ける場合は、同じユニットのブロアーファンを左右の側面パネルに各々離して取り付けてください。

② ブロアー基板を右側面パネル内側に取り付ける



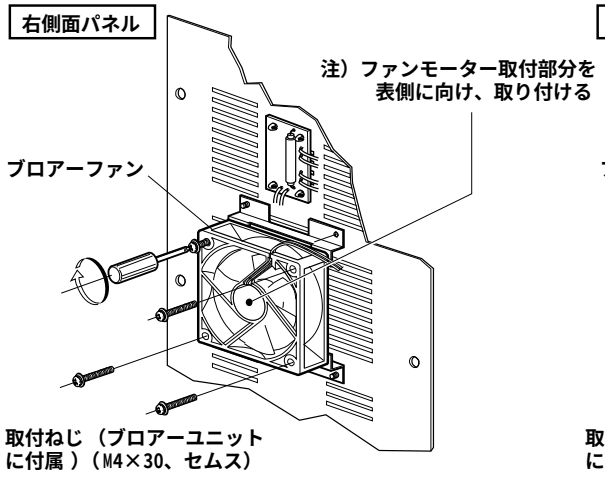
③ ブロアー取付金具を左右側面パネルに取り付ける

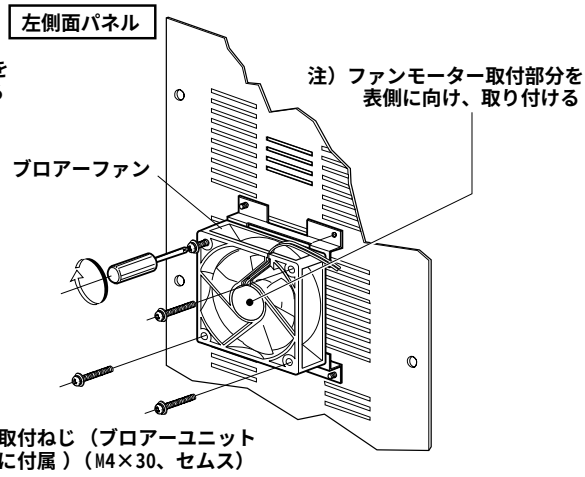


☞7ページにつづく

④ ブロアーファンを左右側面パネルに取り付ける

◆ブロアーファンをブロアーユニットに付属のねじで左右側面パネルに取り付け、
両パネルをラック本体にもとどおりに取り付ける

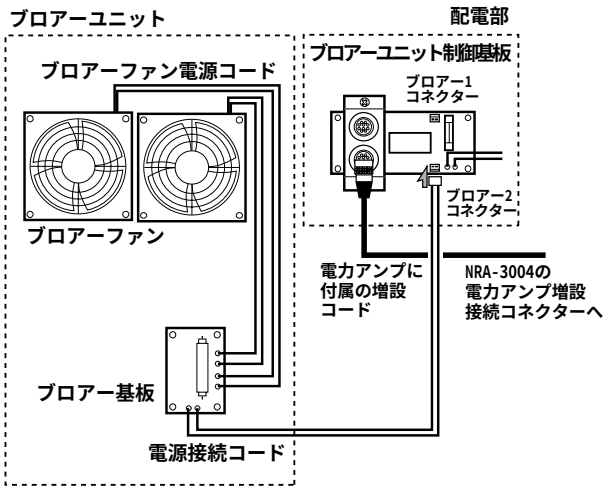




⑤ 電源コードを接続する

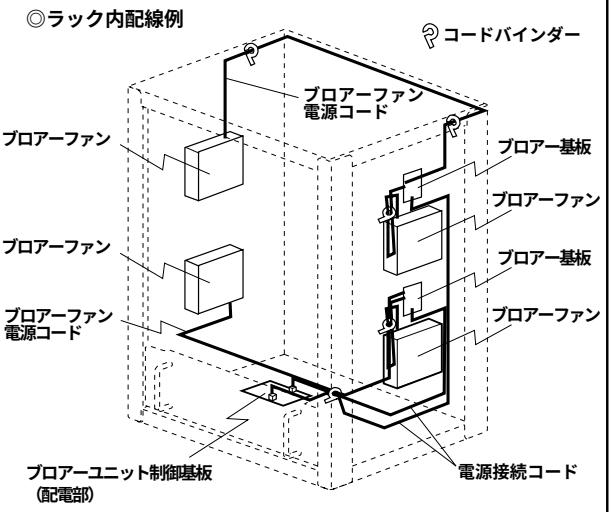
◆ブロアー基板の電源接続コードをブロアーユニット
電源制御基板のコネクター(ブロアー1、ブロアー2)
に接続してください。

◆4ページの機種別の接続方法ご覧ください。



⑥ コードバインダーで各コードを固定する

◆ブロアーユニットのコードをラック内で固定せずに、電力アンプを組み込みますとコードを傷付けたりして危険です。ブロアーユニットの各コードは電力アンプ組込時に引っ掛からないように、必ずブロアーユニットに付属のコードバインダーでラック内の隅に固定してください。



ブロアーユニット NBL-024 構成部品

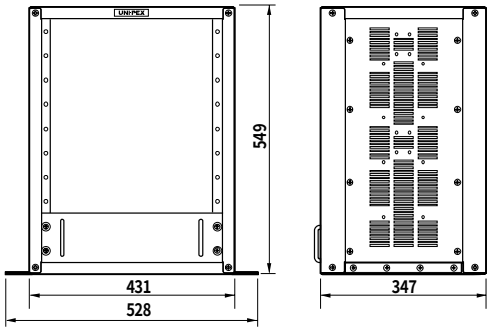
●本体（ブロアーファン2、ブロアー基板1）●ファン取付金具 4
●セムスねじ（M4×30）8 ●半丸皿ねじ（M4×10）8
●飾りワッシャー 8 ●ナイロンスペーサー 4 ●コードバインダー 7

定格

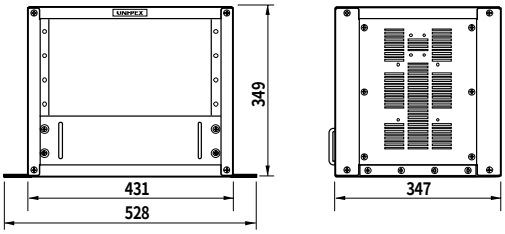
品番	NRL-4402	NRM-2202
寸法	巾 431mm　高さ 549mm　奥行 347mm	巾 431mm　高さ 349mm　奥行 347mm
適合パネル幅寸法	380mm	
組込機器有効高さ	100mm	
パネル組込有効高さ	400mm	200mm
有効奥行	266mm	
専用電力アンプ	NRA-3004	
電力アンプ実装数	4台	2台
配電部	電源端子：1組、ブロアーユニット電源制御基板： 1組	
	スピーカーコネクター： 4組 電力アンプ用電源端子： 4組 電力アンプ用スピーカー端子： 4組	スピーカーコネクター： 2組 電力アンプ用電源端子： 2組 電力アンプ用スピーカー端子： 2組
質量	約 13 kg	約 8 kg
付属品	取扱説明書 1、取付板 2、セムスねじ（M6×15）8、ボルト（M8×45）6、 ナット（M8用）6、Sワッシャー（M8用）6、ワッシャー（M8用）6	

外観寸法図 （単位：mm）

●NRL-4402



●NRM-2202



製造元 日本電音株式会社
発売元 ユニペックス株式会社